

## 「シジュウカラの卵」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

シジュウカラは、適当な営巣地（たとえば人が架けた巣箱）に、まずは盛んに巣草を運び込む。その後、巣草の中心に窪み（産座）をこしらえて、あとは卵を産むだけになる。メスは産卵の日が近づくと、巣箱の中で一晩



を過ごすようになる。夜間から未明に卵を産むことになった場合、小鳥は暗い森を巣箱に戻れないからだ。

巣箱の中でシジュウカラが寝ている様子は、面白い。背中中の羽をふわふわにして、それを枕にして顔をうずめて寝ている。もちろん呼吸はしているので、体がふくらんだり縮んだりしている。

そして数日後の朝、シジュウカラが外に出ると、最初の卵が産み落とされているわけだ。さて、今後どんな子育てをするか、皆さんと一緒に観察したいと思う。

(上) 巣箱で眠るシジュウカラ (メス) (下) 産み落とされた最初の卵 2015, -5, -1 撮影 北軽井沢

